

## 第18回国際火山洞窟学シンポジウム報告

第18回国際火山洞窟学シンポジウムが米国ラバベツジ国定公園にて2018年7月22日～7月26日に開催された。会議場・宿泊場所はともにラバベツジ国定公園近くのWinema lodgeである（写真1）。参加国は米国、英国、フランス、アイスランド、イタリア、日本他で参加人数は約80名、午前は講演、午後は巡検という構成で、講演発表数は30件ほどで、巡検対象はラバベツジ国定公園内及び近傍の火山洞窟である。米国地質調査所（USGS）のJohn Tinsley氏によるラバベツジ国定公園を占めるマンモスクレータ溶岩流の総括的な紹介が行われた後（写真2）、巡検は洞窟ごとにグループに分かれそれぞれ現地の専門家によって引率されて行われた。写真3,4に洞窟の様子を示す。次回はイタリア・シシリ一島で2020年8月開催である。



写真1 シンポジウム会場(奥の会議場とロッジ)



写真3 ヴァレンタイン洞窟



写真2 John Tinsley 氏(米国地質調査所 USGS)によるラバベツジ国定公園の解説



写真4 洞窟天井の溶岩鍾乳